

各位

杜の都信用金庫

2020年度決算状況（速報）について

杜の都信用金庫の2020年度決算状況についてお知らせいたします。

【1】収益面について

◇ 経常利益、当期純利益ともに増益となりました。

(%表示は対前期比増減率)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		最終当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月	6,292	△9.4	680	182.4	1,413	43.7	1,577	30.7	491	54.0
2020年3月	6,948	△9.9	△825	△184.6	983	△61.0	1,206	△30.7	318	△50.8

経常収益は、貸出金利息や国債等債券売却益の減少などにより減収となりましたが、経費や与信関係費用が減少したことなどにより、経常利益、業務純益、当期純利益は増益となりました。

【2】業容面について

◇ 貸出金残高、預金残高ともに増加しました。

(%表示は対前期比増減率)

	預 金				貸 出 金			
	平 残		末 残		平 残		末 残	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月	537,959	5.6	577,624	7.3	322,537	0.9	333,337	5.1
2020年3月	508,964	2.6	538,041	1.9	319,426	△4.0	316,926	△7.2

貸出金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまの資金繰り支援など、地域のお客さまの資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給に努めてまいりましたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

預金は、懸賞付定期預金などの商品がご好評をいただきましたほか、新型コロナウイルスの影響により手元資金を確保する動きが見られたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
2021年3月末	9.93%	0.84ポイント上昇	2.56%	0.49ポイント低下
2020年3月末	9.09%	0.58ポイント上昇	3.05%	0.33ポイント上昇

※不良債権比率は、金融再生法に基づき表記しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を充分保っております。

杜の都信用金庫は、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」を目指して、地域やお客さまの持続的発展に貢献してまいります。